

I

次の文章を読み、問1～10に答えよ。

大宝律令により律令制度はほぼ整備されたとはいえ、古代の日本には成文法は存在せず、法と慣習は未分離の状態だった。改新の詔で公地公民制の政策が示されたとされるが、口分田不足、農民間の貧富の差の拡大、国の税収減などが進んだため、政府は新たな政策を打ち出すことを余儀なくされた。その後、荘園領主による法である本所法が広まり、律令の解釈変更、先例による現実への対応などを内容とする公家法も生まれた。

勢力拡大を目指す武士と荘園領主らとの間では、年貢徴収などの問題をめぐる紛争が増加しはじめた。本所法や公家法も依然として効力を持っていたものの、幕府の力が強まるにつれて武家法の影響力が強まり、裁判に関連する制度の整備が進められた。戦国時代に入ると、一部の戦国大名は、領国支配の基本法である分国法を制定した。

江戸時代には、幕府法や藩法による全国的な支配が進められたものの、朝廷では公家法が機能していた。幕府法・藩法とも触書形式による成文法が中心だったが、不文法としての先例も重要な機能を果たしており、農民社会や町民社会独自の法や掟も存在していた。

明治以降、ドイツ、フランスを中心とする西欧近代法の継受が始まった。基本法典の制定、中央・地方の統治機構整備が進められ、治安維持を目的とした諸法令、経済活動に関連する諸法令が制定された。

第二次世界大戦以降、民主化政策、日本国憲法制定に関連して、重要法律が次々に制定・大改正された。1990年代以降は、国際情勢や社会の変化に対応するための法改正や新法制定も行われた。

問1 下線部(1)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 真偽不明の場合、神判としての盟神探湯が行われることがあった。
- ロ 貴族や役人には、免職や代償支払いと引き換えに実刑を免れる特権があった。
- ハ 八虐にあたる罪については、有位者でも罪を減免されなかった。
- ニ 妻間婚が多かったが、富裕層では婿入り、嫁入りも行われた。
- ホ 夫婦は同姓で、それぞれが自分の財産を持っていた。

問2 下線部(2)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 墾田の所有については、身分によって所有面積が制限された。
- ロ 平安初期の戸籍には、女性の割合が90%近くに達するものがあった。
- ハ 一部の農民は、庸・調を納めず、浮浪人となった。
- ニ 公出挙の利率が年50%から年20%に変更された。
- ホ 財源確保のため、有力農民を利用した直営方式が採用された。

問3 下線部(3)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 後三条天皇は、延喜の荘園整理令を発し、違法な土地所有を禁止した。
- ロ 延久の荘園整理令により、寛徳の荘園整理令以降の新立荘園は停止された。
- ハ 整理令の実施は国司が行ったため、徹底されないことがあった。
- ニ 受領が認めた不輸の権は、その任期中に限定された。
- ホ 記録荘園券契所は、摂関家の荘園を除き、基準に合わない荘園を停止した。

問4 下線部(4)に関連して、当時の裁判制度に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 訴人は問注所に訴状を提出した。
- ロ 頭人と引付衆数名が判決の原案を作成した。
- ハ 評定衆の定員は9名と定められていた。
- ニ 三問三答の後、引付会議で判決が出された。
- ホ 勝訴者には將軍の下知状が与えられた。

問5 下線部(5)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 塵芥集は、犯罪や年貢の滞納に関する連座制を規定している。
- ロ 甲州法度之次第は、喧嘩は例外なく処罰と規定している。
- ハ 信玄家法は、他国との通信や私的盟約を禁止している。
- ニ 今川仮名目録は、私婚禁止を規定している。
- ホ 朝倉孝景条々は、家臣の一乗谷への集住を規定している。

問6 下線部(6)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 一国一城令により、居城以外の領内の城は破却させられた。
- ロ 網吉は、仏教や神道の影響を受け、生類憐れみの令や服忌令を出した。
- ハ 激増する金公事への対応策として、相对済し令が出された。
- ニ 1615年以降の触れを時代順に整理した御触書寛保集成が編纂された。
- ホ 棄捐令により、札差からの5年以上前の借金は帳消しとされた。

問7 下線部(7)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 農家で戸主が死亡すると、女性が戸主に準じることもあった。
- ロ 村に割り当てられた年貢は、村役人が中心となり村の責任で納入した。
- ハ 五人組は、年貢納入や犯罪防止について連帯責任を負った。
- ニ 町政は、家持、地借、借家、店借によって運営された。
- ホ 江戸、大坂、京都などには、公認の遊廓が設けられた。

問8 下線部(8)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 憲法公布と同時に、議院法、衆議院議員選挙法、貴族院令が公布された。
- ロ 宮内省は内閣の外に置かれ、行政府と宮中は制度的には区別された。
- ハ 府県予算案の部分的審議権が府県会に与えられた。
- ニ 市長は公選によって決定され、市参事会が行政を担当した。
- ホ 町村長は、無給の名誉職だった。

問9 下線部(9)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 保安条例により、民権派の一部は皇居周辺から退去させられた。
- ロ 保安条例公布後、新聞紙条例改正によって取締りが強化された。
- ハ 新聞紙条例は、1883年改正の後、新聞紙法に継承された。
- ニ 集会条例は、政社の自由を制限した。
- ホ 讒謗律は、人を非難する言動をすべて罪とした。

問10 下線部(10)に関連して、各内閣とその内閣時代に制定または改正された法律の組み合わせにつき、不適切なものはいずれか。1つ選べ。

- イ 宮沢喜一内閣——P K O協力法
- ロ 細川護熙内閣——政治改革関連4法
- ハ 橋本龍太郎内閣——財政構造改革法
- ニ 小渕恵三内閣——新ガイドライン関連法
- ホ 小泉純一郎内閣——循環型社会形成推進基本法

II

次の文章を読み、問1～10に答えよ。

女性としてはじめて皇位についた推古天皇の時代から、天武天皇の時代までは「一代一皇居」の時代であった。持統天皇の時代に最初の本格的都城、藤原京が造営され、694年から710年までここに都が置かれた。遣唐使によってもたらされた長安の情報が日本に大きな影響を与え、元明天皇は律令国家の統治に相応しい環境を創出すべく、奈良盆地の北端に新たな都を造営し、710年に平城京に遷都した。ここに都があった奈良時代には貴族文化が栄える一方、人々の日常生活にも大きな変化がみられた。

784年、桓武天皇は僧侶や寺院による政治への関与を排除し、律令体制の立て直しを図って長岡京への遷都を決断したが、わずか10年ほどで断念し、平安京への遷都を決定した。以後鎌倉幕府が成立するまでの約400年間、平安京は日本の政治の中心として栄えた。東アジアにおける中国の影響力が弱くなっていく中で、9世紀後半から10世紀になると、日本では国風文化が栄え、貴族の生活も変貌した。

治承・寿永の乱を経て、最初の武家政権である鎌倉幕府は京都から遠く離れた源氏ゆかりの地に成立したが、鎌倉幕府が滅亡すると、足利尊氏が京都に幕府を開いたことで、政治の中心は再び京都に遷された。その後、安土・桃山時代に続いて、徳川家康は征夷大将軍に任じられ、江戸に幕府を開いた。江戸幕府は市街地の建設と江戸城の大改築を行ったが、1657年の明暦の大火で江戸の大半が焼失した。それにもかかわらず、元禄時代には、江戸は100万といわれる人口を有する巨大都市に成長した。

1867年、天皇を中心とする新政府が樹立されたが、新政府の参与大久保利通は大坂遷都を建言した。しかし、東国の人心を掌握するという意図もあり、明治政府は江戸を東京に改名し、明治天皇は東京に行幸した。日本の近代化をリードする都市として急速に発展した東京の文化は、日本人の生活様式に大きな影響を与えた。昭和に入ると、東京は激動する日本の舞台となった。太平洋戦争末期、東京は大空襲を経験し、廢墟と化したが、1964年のオリンピック東京大会までの約20年の間、東京は他の日本の都市と共に、復興を成し遂げ、近代的な大都市として再出発した。

問1 下線部(1)に関連する記述として、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 中国との外交を再開した倭国の大王が、隋の煬帝から冊封を受けなかった。
- ロ 『隋書』倭国伝の記録によれば、最初の遣隋使に託された国書には「東の天皇、敬みて西の皇帝に白す」という表現が使われた。
- ハ 憲法十七条には、「私に背きて公に向ふは、是れ臣の道なり」という内容があった。
- ニ 氏族に対し功績に応じて世襲できる冠位を与えた。
- ホ 聖徳太子の発願により、法興寺などが建立された。

問2 下線部(2)に関連する記述として、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 古墳時代の人々の食生活は1日2食であったが、奈良時代になると、一般に1日3食となった。
- ロ 出土した木簡などが示しているように、長屋王は夏にも氷を利用した。
- ハ 野菜の栽培が行われていた。
- ニ 庶民が日常に着用する衣服の材料に野生植物が用いられなくなった。
- ホ 仏教の影響で、庶民のほとんどは死後火葬にされた。

問3 下線部(3)に関連する記述として、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 貴族は魚や鳥を食し、調理に油が用いられるようになった。
- ロ 貴族男性が正装として着用した東帯は唐風の服装をつくりかえたものである。
- ハ 15-18歳くらいで、男性は元服の式をあげて、成人として扱われた。
- ニ 撰閤家などが京を離れて旅行することが一般的となった。
- ホ 貴族の日常の行動に、吉凶にもとづく制約が設けられた。

問4 下線部(4)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 書院造が上流階層の邸宅として普及し始めた。
- ロ 公家や武士は日常の食事に米を用いた。
- ハ 調味料として醤油が用いられるようになった。
- ニ 中国大陸からの陶工によって有田焼、薩摩焼などが作られるようになった。
- ホ 男性も派手な絵模様を染め出した小袖を着用するようになった。

問5 下線部(5)に関連して、江戸時代の消防に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 火災に対応する制度を強化するために、町火消が組織された。
- ロ 火災時の災害を軽減するため、車長持の利用が奨励された。
- ハ 江戸の防火施設として広小路が設けられた。
- ニ 防火などの夫役である町人足役のかわりに、貨幣で支払うこともあった。
- ホ 鳶人足による消防組織が作られた。

問6 下線部(6)に関連して、大日本帝国憲法下の天皇に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 天皇は文武官僚任免の権限を有する。
- ロ 天皇は条約を締結する権限を有する。
- ハ 天皇は命令を発することによって法律を変更することができる。
- ニ 皇室典範に従って、摂政を置くことができる。
- ホ 国務各大臣は天皇を輔弼する。

問7 下線部(7)に関連して、日清戦争後、労働者が待遇の改善を求めてストライキを始めたが、労働運動を組織化するために、1897年7月労働組合期成会が結成された。結成に関係の深い人物は誰か。2人選べ。

- イ 幸徳秋水 ロ 高野房太郎 ハ 堺利彦 ニ 片山潜 ホ 安部磯雄

問8 下線部(8)に関連する記述として、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 路面電車の路線が広げられる前に、鉄道馬車が運行されていた。
- ロ 日露戦争後の1908年には東京の人口は500万人に達した。
- ハ 陸軍省から土地の払い下げを受けた三井は、丸の内にビルを建設した。
- ニ 日露戦争前に帝国劇場が竣工した。
- ホ 日露戦争前に日比谷公園が開園した。

問9 下線部(9)に関連する出来事として、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ アジア友好国の首脳が集まり、東方会議が開催された。
- ロ 皇居前で昭和天皇即位の大礼が行われた。
- ハ 無政府主義者の一青年が虎の門事件を起こした。
- ニ 浜口雄幸首相が官邸で狙撃された。
- ホ 二・二六事件を起こした「蹶起部隊」は、国会を占拠した。

問10 下線部(10)に関連して、東京オリンピック開催前の出来事として、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 東名高速道路が全線開通した。
- ロ 総評が指導する「春闘」が始まった。
- ハ 国民総生産が資本主義国の中で第2位の規模になった。
- ニ 朝永振一郎がノーベル物理学賞を受賞した。
- ホ 電気洗濯機の普及率が90%を越えた。

Ⅲ 次の文章を読み、問1～10に答えよ。

教育と政治の関係は、歴史と現代をつなぐ日本史の重要テーマのひとつである。学問と教育は、国家建設の手段になるとともに、政府批判の言論を生み出す役割をも果たしてきた。大化の改新と大宝律令によって成立した中央集権国家において、遠隔地方に対する支配を可能にしたのは、文書伝達による行政システムであった。この時代、文字能力と数量処理能力を備えた官人を養成するための中央の機関として大学が⁽¹⁾つくられた。平安時代になると、貴族は一族子弟の教育のために大学の寄宿舎にあたる大学別曹を⁽²⁾設けた。

鎌倉時代中期以降になると、貴族や僧侶のほかに武家の中からも好学の蔵書家が出現し、武家文庫や学校が設立された。また、応仁の乱により京都が荒廃すると、公家たちが地方へくだったことなどから、文化の地方普及が⁽³⁾促進された。

武士が行政官僚の役割を担うようになった江戸時代には、幕府が儒学による武士の教育を強く奨励した。儒学のなかでも、上下の礼節を重視する朱子学は、身分制秩序の維持と正当化に好都合であった。寛政異学の禁により朱子学を正学とした幕府は、上級武士の子弟を教育して人材を登用するために、直轄の昌平坂学問所を運営した。全国の藩も、藩士やその子弟らの教育のために藩校を⁽⁴⁾設立した。儒学を中心に武士を教育する藩校と、読み・書き・算盤を庶民に教える寺子屋の間には、身分制秩序の壁が⁽⁵⁾あったが、その壁を破って「士庶同学」を実践する郷校や私塾も登場した。18世紀になると、実証主義・自然主義・合理主義などの観点から既存の身分体制や政策を批判しようとする学問も⁽⁶⁾生まれていった。

江戸時代後半に登場するこうした批判的学問の姿勢は、明治期の啓蒙思想にも⁽⁷⁾引き継がれることになる。明治維新後の1872年に公布された学制の「序文」では、「空理虚談」を⁽⁸⁾排して、学問は「身を立るの財本」であることが説かれるなど、福沢諭吉『学問のすゝめ』にみられるような実利主義的で平等主義的な教育観が取り入れられていた。他方で、1886年の諸学校令公布にかかわった文部大臣の森有礼は、学校教育の目的として国体主義ないし国家の利益を正面から掲げ、教育が「生徒其人の為にするに非ずして、国家の為にする」ものであることを強調した。こうした理念を体現していたのが、1890年に発布され、「国体の精華」と儒教倫理を結合してたいわゆる「教育勅語」であった。

第二次世界大戦後の1947年に⁽⁹⁾制定され、2006年に全面改正された教育基本法では、「個人の尊厳」や「学問の自由」の価値がうたわれている。さらに近年は、不登校の増加などにとともない、学校以外の場での義務教育の多様な機会を確保しようとする動きも出てきている。

問1 下線部(1)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 律令制では大学は中務省の管轄下にあった。
- ロ 学生は大学を修了し、さらに試験に合格してはじめて官人となることができた。
- ハ 地方には国ごとに国学が置かれ、郡司の子弟らを優先して入学させた。
- ニ 上級貴族の子弟は大学を出るよりも蔭位の制で出仕するほうが有利であった。
- ホ 史書や経書などの教科書は地方にも広まっていた。

問2 下線部(1)で教えられなかった学科はどれか。2つ選べ。

- イ 明法道
- ロ 陰陽道
- ハ 算道
- ニ 医道
- ホ 音道

問3 下線部(2)に関連して、藤原氏によって設けられ大学南曹と呼ばれた大学別曹はどれか。1つ選べ。

- イ 淳和院
- ロ 弘文院
- ハ 勸学院
- ニ 奨学院
- ホ 学館院

問4 下線部(3)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 大内氏の城下町山口には文化人が多く集まり、儒学や和歌の講義がなされた。
- ロ 薩摩で儒学の講義をした万里集九は、後の薩南学派のもとを開いた。
- ハ 関東管領上杉憲実によって再興された足利学校には、全国から武士や禅僧が集まった。
- ニ 武士の子弟を教育した地方の寺院では、『庭訓往来』や『御成敗式目』が教科書として使われた。
- ホ 奈良の商人により、『節用集』という辞書が刊行された。

問5 下線部（4）に関連して、設立地——藩校名——設立者の組み合わせが不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 熊本——時習館——細川重賢 口 庄内——致道館——酒井忠徳
ハ 会津——日新館——松平容頌 ニ 萩——明倫館——黒田斉隆
ホ 水戸——弘道館——徳川斉昭

問6 下線部（5）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 大坂の懐徳堂は、富永仲基や山片蟠桃ら町人出身の学者を生んだ。
口 近江藩主池田光政が建てた閑谷学校は初期の郷校の例である。
ハ シーボルトは鳴滝塾を開いて医療とともに洋学を教え、高野長英らを育てた。
ニ 広瀬淡窓は、豊後日田に咸宜園を開いた。
ホ 蕨園塾を設立した荻生徂徠は、統治の具体策を説く経世論に道を開いた。

問7 下線部（6）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 賀茂真淵や本居宣長らは、批判精神に富んだ国学を発展させた。
口 尊王斥覇を説いた兵学者の山県大弐は死刑に処せられた。
ハ 国学者の埴保己一が尊王論を説いて追放刑となる宝暦事件が起こった。
ニ 水戸学は天皇尊崇と幕藩封建秩序の両立を主張した。
ホ 『自然真営道』を著した安藤昌益は、武士が農民から搾取する身分社会を批判した。

問8 下線部（7）に関連して、近代思想の普及を担った明六社に参加しなかった人物は誰か。1人選べ。

- イ 大木喬任 口 津田真道 ハ 西村茂樹 ニ 西周 ホ 中村正直

問9 下線部（8）に関連して、明治期の学校教育についての記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 学制では8歳以上の男女すべてが就学することとされ、国民皆学教育が目指された。
口 学制がつくられた当初は、学校建設費は地元の人々の負担とされ、授業料も有料であった。
ハ 高等教育を担う民間の機関として、慶応義塾・同志社・東京専門学校などの私立学校があった。
ニ 1903年に小学校の国定教科書の制度が確立した。
ホ 東京開成学校と東京医学校が統合されて、東京大学が設立された。

問10 下線部（9）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 教育基本法により、男女共学が原則とされた。
口 学校教育法により、6・3・3・4の新たな学制が発足した。
ハ 都道府県・市町村ごとに公選による教育委員会が設けられ、教育行政の地方分権化がはかられた。
ニ 戦後の新学制発足以前には、女子高等師範学校が女子の入学できた唯一の旧制大学であった。
ホ 教育基本法が改正され、前文に「公共の精神を尊び」や「伝統を継承し」の文言が加えられた。

IV 次の文章を読み、問1～10に答えよ。

米を中心とした農業生産とそれを支える農村は、日本の歴史上、重要な社会的基盤としての役割を担ってきた。太閤検地以降導入された石高制は、幕藩体制下では社会・経済の基本システムとして機能し、地租改正によって廃止されることとなる。

1880年代に入ると地租改正はほぼ完了するが、同時に松方デフレによって米価が下落し、小作地率が上昇をはじめ、人口増加に伴う需要拡大により米価は上昇を続けていたものの、小作料は現物納であったから、米価上昇は小作人の収

入増にはつながらず、1890年代以降も小作地率の上昇は続いた。一方で、小作料として得た米を売却して地租を金納する地主の収入は増加し、寄生地主化が進展した。第一次世界大戦終結後には、小作地率が45パーセントを超え、地主・小作人の貧富の差が拡大した。

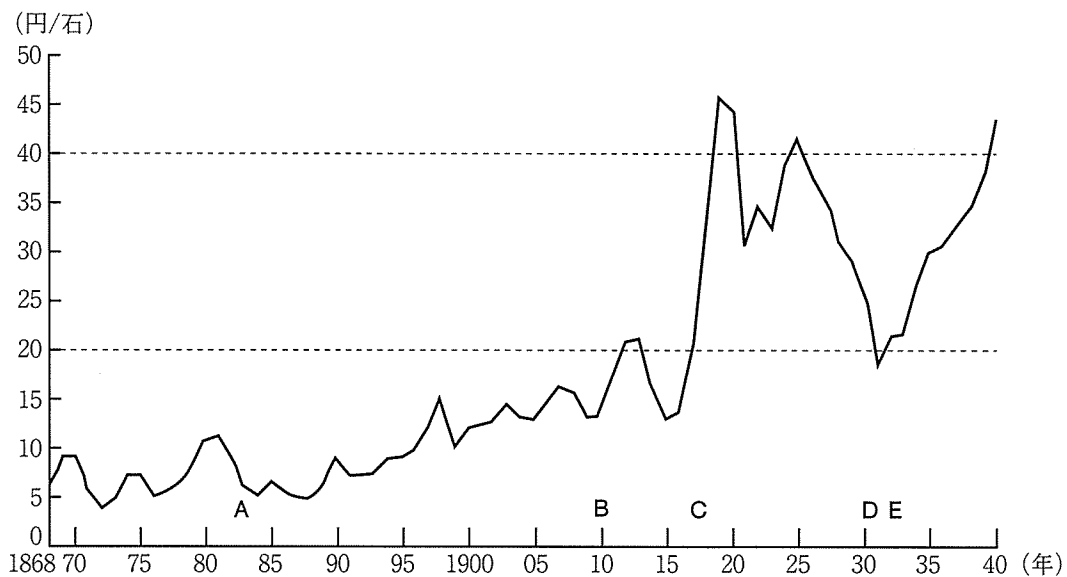
下層農民の困窮は大きな社会問題となり、当時の知識人や作家も農村問題に関心を寄せている。例えば、札幌農学校に学んだ有島武郎は1922年にみずから所有する北海道の農場を小作人に開放している。その経緯について有島は翌年次のように述べている。「直接の動機としては、資本主義制度の下に生活してゐる農民、殊に小作人達の生活を実際に知り得たからです。小作人達の生活が、如何に悲惨なものであるか…私の狩太村の農場は…約七十戸といふところですが、それが何時まで経つても掘立小屋以上の家にならないで、二年経つても三年経つても、依然として掘立小屋なんです」
 「作物の相場の変動が、この頃は外国の影響を受ける場合が多いものですから、農民たちには相場の見込みがつかず、
 (4) そのために苦しんだ上旬が見込み外れがしたりして、つい悲惨な結果を生むやうになるのです」(『私有農場から共産農団へ』)。

また、盛岡高等農林学校に学んだ宮沢賢治は農業技術の指導や農民教育に従事しつつ創作活動を行い、1933年に没する直前まで農民からの肥料の相談などに(5)応じていたといわれる。宮沢は農業技術の向上による小作問題の解消を指向していたため政治運動には消極的だったともいわれ、みずから活動に身を投じてはいなかったものの、(6)労働農民党に多額の献金を行っていたことがわかっている。(7)

(8) 1930年代後半以降、日中戦争が拡大すると戦時統制が進められ、食糧確保のために地主の取り分を縮小させる政策が相次いだ。こうして寄生地主制は徐々に衰退し、(9)戦後の(10)農地改革によって解体された。

問1 下記のグラフは下線部(1)の明治維新以降の推移を示すものである。A～Eの時期に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ Aの時期の米価下落を契機に、農村地主が自由民権運動に参加するようになった。
- ロ Bの頃、政府は自力更生運動を推進し、困窮する農村の振興をはかろうとした。
- ハ Cの頃、シベリア出兵を見込んだ米の買占めが横行した。
- ニ Dの頃、米価の下落に加え、都市部で増加した失業者の帰農により農村の困窮は深刻化した。
- ホ Eの頃、政府は時局匡救事業を実施し、公共事業を通じて農民に現金収入の機会を得させようとした。



問2 下線部(2)が属していた白樺派の作家とその作品の組み合わせとして、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 島崎藤村——『夜明け前』 □ 武者小路実篤——『友情』
- ハ 志賀直哉——『カインの末裔』 ニ 田山花袋——『田舎教師』
- ホ 倉田百三——『和解』

問3 下線部(3)に関する記述として、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 北海道には弥生文化が及ばず、貝塚文化を経て7世紀頃には擦文文化が成立した。
- ロ 室町時代には、津軽の十三湊を経由して北方の物産が畿内にもたらされるようになっていた。
- ハ 田沼意次は『赤蝦夷風説考』を参考にして間宮林蔵らを蝦夷地に派遣した。
- ニ 明治政府は、1886年に開拓使を廃止した。
- ホ 北海道旧土人保護法は北海道開発庁の設置に伴い廃止された。

問4 下線部(4)に関連して、この時期以降の経済状況に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 金融恐慌に際して、若槻礼次郎内閣は3週間のモラトリアムを発令した。
- ロ 旧平価で金解禁が行われ、実質的に円の切り上げとなった。
- ハ 金解禁によって不良企業の整理・淘汰も期待された。
- ニ 重要産業統制法は、指定産業での不況カルテル結成を容認した。
- ホ 世界恐慌によりアメリカへの生糸輸出が激減し、繭の価格が下落した。

問5 下線部(5)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 室町時代には品種改良により早稲・中稲・晩稲の作付けが行われるようになった。
- ロ 江戸時代には宮崎安貞の『農業全書』などの農書によって農業技術が伝えられた。
- ハ 明治政府は農事試験場を設けて、稲などの品種改良を進めた。
- ニ 明治政府は駒場農学校や三田育種場を開設して西洋式技術の導入をはかった。
- ホ 明治政府は札幌農学校にクラークを招き欧州式の大農場制度の移植をはかった。

問6 下線部(6)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 江戸時代に金肥が普及すると下肥は使用されなくなった。
- ロ 日露戦争後には、満州からの大豆粕の輸入が増加した。
- ハ 第一次世界大戦期に欧州からの化学肥料の輸入が困難になったことは、国内の化学工業勃興の契機となった。
- ニ 1920年代には硫酸などの化学肥料の使用が本格化していた。
- ホ 1930年代に台頭した新興財閥の中には、化学肥料会社を母体とするものがあった。

問7 下線部(7)に関する記述として、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 1937年に活動を停止した。
- ロ 戦後に再建された。
- ハ 第一回普通選挙では当選者を出すことができなかった。
- ニ 内部対立により社会民衆党と日本労農党が分裂・離脱した。
- ホ 結成当初は非合法であった。

問8 下線部(8)に関連して、この時期の政策に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 1940年に導入された米の供出制の下で、政府は強制的に米を買い上げた。
- ロ 1941年に米の配給制が導入されたが、戦況の悪化に伴い代用品が増加した。
- ハ 1942年に食糧管理法が制定された。
- ニ 蔬菜類は配給制の対象にならなかった。
- ホ 政府は小作料制限や生産者米価優遇などの措置により米の生産力を増大させようとした。

問9 下線部(9)に関連して、戦後の食農政策に関する記述として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 深刻な食糧難に対応するため、1951年までガリオア資金による緊急食糧輸入が行われた。
- ロ 食生活の変化などから米の供給が過剰となり、1970年に減反政策が開始された。
- ハ 1970年代には第2種兼業農家が農家総数の半数以上を占めるようになった。
- ニ 1988年に牛肉・オレンジの輸入自由化が実施された。
- ホ 1993年に決定された米市場部分開放により米が輸入され、明治維新以降はじめて米の自給率が100%を下回る事となった。

問10 下線部(10)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 日本農民組合は戦後再結成されたが、農地改革後は小作農の自作農化によって弱体化した。
- ロ 農地改革後の1947年に農業協同組合法が制定され、各地に農協が設立された。
- ハ 山林・原野は解放の対象とされず、地主の所有権が維持された。
- ニ 農地改革後に残った小作地については、公定・定額の小作料を金納することとされた。
- ホ 農地改革がほぼ完了した1950年には就業人口に占める農業人口の割合が4割を下回っていた。

[以下余白]